

令和6年度のごみ収集量及び資源回収量並びに令和7年度組成分析調査の結果について

中野区における令和6年度のごみ収集量と資源回収量が確定した。また、令和7年度組成分析調査の結果が出たので、あわせて報告する。

なお、この結果については、今後のごみ減量施策や清掃事業の推進に活用していく。

1 ごみの収集量

(1) 収集量

令和6年度のごみの収集量の合計は、前年度比98.5%の52,979tであった。

(単位：t)

	4年度	5年度	6年度	6年度と5年度の比較	
				増減量	年度比
燃やすごみ	52,374	51,055	50,271	-784	98.5%
陶器・ガラス・金属ごみ	168	154	145	-9	94.3%
粗大ごみ	2,702	2,555	2,563	8	100.3%
合計	55,244	53,763	52,979	-785	98.5%

※ 端数処理のため、合計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 区民一人1日あたりごみ量

令和6年度の一人1日あたりのごみ量は前年度比97.5%の425gであった。

(単位：g)

	4年度	5年度	6年度	6年度と5年度の比較	
				増減量	年度比
ごみ量	453	436	425	-11	97.5%
23区の順位	2位	3位	3位	-	-

※ 23区の順位の算定には、清掃事業年報の数値(10月1日現在の人口ベース)を使用し

ているため、区の各種計画に記載している目標値（1月1日現在の人口ベース）と異なる場合がある。

2 資源の回収量

令和6年度の資源の量は前年度比98.5%の19,822tであった。

（単位：t）

資源品目	4年度	5年度	6年度	6年度と5年度の比較	
				増減量	年度比
缶	1,012	967	942	-25	97.4%
びん	2,883	2,728	2,614	-115	95.8%
資源プラスチック （プラスチック製容器包装）※1	2,231	2,126	2,241	115	105.4%
ペットボトル	1,320	1,310	1,412	102	107.8%
古紙	11,361	10,624	10,354	-269	97.5%
古着・古布	440	439	432	-7	98.4%
乾電池	31	30	31	2	106.1%
食用油	3	3	3	0	98.6%
小型家電	5	6	8	2	131.2%
蛍光管	2	2	3	0	113.9%
金属系粗大	440	433	438	5	101.1%
陶器・ガラス・金属	1,553	1,453	1,344	-108	92.5%
合計	21,282	20,121	19,822	-299	98.5%

※1 令和4、5年度の分別区分は「プラスチック製容器包装」。令和6年度から製品プラスチックを含めた「資源プラスチック」に分別を変更した。

※2 端数処理のため、合計と内訳が一致しない場合がある。

3 組成分析調査

（1）目的

集積所に排出されるごみの組成を明らかにすることで、現状の施策の効果を計るとともに、効率的に施策を推進するための基礎資料とする。

(2) 調査期間

令和7年6月2日(月)から6月14日(土)までのうち、6月8日(日)を除く12日間

(3) 内容

燃やすごみ100kg、陶器・ガラス・金属ごみ50kgを目安に回収の上、組成分類項目に従い42種に分別し、測定等を行った。

(4) 調査結果の概要

「燃やすごみ」のうち最も多いのは「厨芥類」で、35.8%を占めており、「厨芥類」のうちの約2割が「食品ロス」に該当するものであった。「燃やすごみ」への資源化可能物の混入率は25.7%で、「紙製容器・包装」や「プラスチック製容器包装」が多く含まれていた。

「陶器・ガラス・金属ごみ」のうち最も多かったのは「陶磁器」20.3%であった。

「陶器・ガラス・金属ごみ」への資源化可能物の混入率は14.5%で、「その他雑びん」や「乾電池（筒形）」が多く含まれていた。

(5) 調査結果の公表

区ホームページに報告書全文を掲載する。